



勉強嫌がる小1 うまく教えるには

小学1年の子に、どうしたらうまく勉強を教えらるか悩んでいます。

「勉強を教えて」と頼まれるので教えてできてないところを指摘すると「もう嫌だ! 勉強嫌い!」と言われ、お互いにいらいらすることになります。

「教えて」と言われるから教えているのに、結果は毎度「もう嫌だ!」。こちらもがっかりしてしまいます。できていない箇所を言っただけでいいことには教えられると思わないのです。

まだ小1なので、塾に通わせるほどではないかと考えています。親がうまく教えるには、どうしたらいいでしょうか?

先生、教えて!

子育て・教育相談コーナー



岩沼市
40代・自営業
からの質問

●回答してくれた人

畠山 明さん



はたけやま・あきら 気仙沼市出身。東北大学院修士。個別教室のアップル・家庭教師のアップル(仙台市)代表などを務める。

このコーナーは保護者からの子育てや教育についての相談を募集しています。メール、郵送のほかQRコードから応募できます。

▷記入事項 氏名、年齢、職業、住所、家族構成、電話番号、メールアドレス

▷宛先 〒980-8660 河北新報社
こども新聞係。メールアドレスkyo
pro@po.kahoku.co.jp



子どもが「勉強教えて」と言うとき、保護者に求めているサポートは多様です。「教える」という言葉通り指導・解説してほしい子もいれば、伴走者のように一緒に問題を解いてほしい子も。不安なところをただ見守ってほしい子もいます。

小学校低学年だと全てひっくり返して「勉強教えて」という言い方になりがち。どんなサポートが必要か、保護者はどう手伝いたいのか、お互いのイメージをすり合わせて進めたいですね。

誰しも、できない部分をずばりと指摘されるのはつらいもの。保護者から見て心配なときは「ここはどう解く?」と問い掛けてみるのがお勧め。理解があやふやな部分に子ども自身が

できた部分
まず認めて

気付けるよう促しましょう。

できているところを認めるのも大切。人の脳はネガティブなことの方が記憶に残りやすいといわれます。「苦手」「できない」という思いからやる気がしぼまないよう、意識して励ますぐらいがちょうど良いです。

子どもがかんしゃくを起こしたら、あえて静かに応じるのが良いでしょう。気持ちを発露することで子どもなりにいらいらに対処し、バランスを取っているのかもしれない。共感しつつ本人のタイミングで再開するのを見守ってあげると、親の「思い」も伝わるはずですよ。

小学1年生。長い学びのスタートが、楽しい体験になりますように。